

県教育庁人事

ICT活用を推進

小中高に支援員ら配置

佐賀県教育委員会は31日、4月1日付の教職員の人事異動と組織改正を発表した。重点項目に掲げるICT利活用を進めるため、小中高校に初めてICTスーパーティーチャー16人を配置、ICT支援員77人を置く。文化・スポー

ツ業務の知事部局への一元化に伴い、社会教育・文化財課を「文化財課」に変更。体育保健課を廃止し、学校体育などは学校教育課に統合する。6、8、28面に関連記事

ICT活用教育の推進に向け、教育情報化推進室を拡充。学習教材や校務管理などの機能を統合した新たな基幹システムを構築する開発担当を新たに配置する。国際社会で活躍する人材育成を強化するため、教育政策課に専任職員3人を置く。

2013年度に佐賀県を含む北部九州4県で開かれる全国高校総体に向けて学校教育課内に推進室を設置、19人体制で準備に当たる。

このほか総合福祉センターに養護教諭1人を派遣、連携を強化して増加する児童虐待問題に対応する。理科授業の興味・関心の喚起につなげるため、新たに理科専科教員を鍋島(佐賀市)、長松(唐津市)、鳥栖北、御船が丘(武雄市)の4小学校に配置する。管理職事務長を39人に増やし小中学校の事務共同化を進める。

異動総数は前年度より201人少ない2023人。小中学校は1366人(前年度比108人減)で、県立学校は657人(同93人減)。小中学校の女性管理職起用は前年度より2人多い11人(校長3人、教頭6人、事務長2人)で、県立学校は教頭1人。管理職に占める女性の割合は小中学校が0.5割増の15.8%、県立学校は0.6割増の5.7%となっている。

新規採用は188人(小中学120人、県立校68人)。退職者は前年度より30人少ない189人だった。(光武一則)